

取扱説明書

このたびは、MA-S160をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本機を正しくお使いいただくため、ご使用になる前に必ず本書をよくお読みください。
また、必要などきにご覧になれるよう大切に保管してください。



同梱品確認のお願い

セッティングをはじめの前に、以下のものが同梱されているかどうか確認してください。
万一不足のものがありませんでしたら、お買い上げ店もしくは(株)フライングモールへご連絡ください。

- ・ACコード × 1
- ・リモート接続コード × 1
- ・リモート接続コネクタ × 2 (本体に装着済)
- ・取扱説明書(本書) × 1



1 安全上のご注意 (安全に正しくお使いいただくために)

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな給表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

◆ 給表示について

	△ 記号は注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。
	○ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。
	● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	
	電源電圧は、交流100V以外の電圧で使用しない 火災・感電の原因となります。 本機を使用できるのは日本国内のみです。制約などの電源(DC)電源には、絶対していません。
	水を入れたり、濡らさない 火災・感電の原因となります。 本機の上に水などの入った容器や小さな液体物を置かないでください。
	雷が鳴っているときは、電源プラグに触れない 感電の原因となります。
	電源コード・プラグを破損するようなことはしない 傷つける、削る、折る、熱器具に近づける、無理に引ける、なじる、引っ張る、突く、重いものを載せるなどしないでください。火災・感電の原因となります。
	分解・改造は絶対しない (キャビネットを外すことも含む) 火災・感電の原因となります。
	濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない 感電の原因となります。
	落としたりして本機を損傷した場合は、電源スイッチを切り、電源コードを外す そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。修理をご依頼ください。お怪状による修理はもれずから保証にお任せください。
	機器の内部に水や異物が入った場合は、必ず電源スイッチを切り、電源コードを外す そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
	電源プラグのほこりなどは定期的にとる プラグにほこりなどがたまる、蒸気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。 ・電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。
	電源プラグは、根元まで確実に差し込む 差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因となります。 ・差し込む時は、必ずプラグ保持部(カラー)から抜かないでください。 ・濡れたプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。
	煙が出たり、変なおいや音が出たらすぐに電源スイッチを切り、電源コードを外す そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認して修理をご依頼ください。お怪状による修理は危険です。必ず絶対にお任せください。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性、および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。	
	直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に置かない キャビネットや筐体に熱い感を与えたり、内部の温度が上昇し、火災の原因となります。
	湿気やほこりの多い場所に置かない 火災・感電の原因となります。
	振動のある場所、くらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない 落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。
	お手入れの際は、安全のため電源コードを外す 感電の原因となります。
	各機器を接続する場合は、電源プラグを抜き、取り扱い説明に従って接続する 各々の機器の取扱説明書をよく読み、接続には指定のコードを使用してください。
	長期間使用しないときは、必ず電源コードを外す 火災の原因となります。
	移動するときは、電源スイッチを切り必ず電源コードを外す 電源コードが損傷していると火災・感電の原因となります。
	電源を入れる前には、音量を最小にする 突然大きな音がして聴力障害などの原因となります。

2 特長

- 独立電源ツインモノラル構成
- 当社独自のBi-Phase PWMアンプを搭載し、優れた高速応答性と広ダイナミックレンジで新次元の高音質を実現
- 固定レベル(ボリュームバイパス)、可変レベル選択可
- ブリッジ接続(BTL接続)にて300W/8Ωのモノブロックパワーアンプに変身
- 作りに拘る贅沢部品の採用

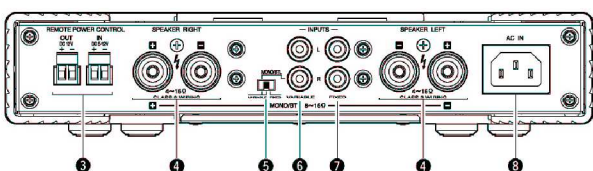
3 各部の名称とはたらき

■ フロントパネル



- 電源スイッチ/POWERインジケター**
本機の電源をON/OFFするスイッチです。本機の電源がONすると、インジケターが点灯します。
- レベル調整ツマミ**
入力信号レベルをコントロールするツマミです。“MIN”の位置でレベル最小になります。
●モード切替スイッチを“FIXED”にした場合機能しません。“MONO/BTL”にした場合、[RIGHT]側のみ機能します。

■ リアパネル



各部の名称とはたらき

- REMOTE POWER CONTROL端子**
 - OUT
本機の電源ON/OFF時に他の機器の電源を連動させるためのリモート出力端子です。REMOTE POWER CONTROL端子(IN)を持つフライングモール社製品に接続します。
 - IN
他の機器の電源ON/OFF時に本機の電源を連動させるためのリモート入力端子です。REMOTE POWER CONTROL端子(OUT)を持つフライングモール社製品に接続します。

この端子に接続した時は、本機の電源スイッチを“OFF”アを使用下さい。

※ ご使用の際は、接続する機器の取扱説明書もよくお読み下さい。
※ 上記以外の用途及び他社製品には、ご使用できません。
- FIXED (スイッチ位置: 右)**
ステレオパワーアンプ(100W/8Ω x 2CH)として動作します。入力端子は●INPUT端子(FIXED)を使用します。フロントパネルの●レベル調整ツマミはバイパスされ、機能しません。
- MONO/BTL (スイッチ位置: 左)**
モノラル(ワウアンプ) BTLモード(300W/8Ω x 1CH)として動作します。入力端子は●INPUT端子(VARIABLE)の[R]を使用します。フロントパネルの●レベル調整ツマミの[RIGHT]側で入力信号のレベル調整が可能です。
- INPUT端子 (VARIABLE)**
信号の入力端子です。プリアンプなどのOUTPUT端子と接続します。
●モード切替スイッチで“VARIABLE”選択時に[R]と[L]それぞれに接続可能です。“MONO/BTL”選択時は[L]のみ接続して下さい。“FIXED”選択時は使用しません。
- INPUT端子 (FIXED)**
信号の入力端子です。プリアンプなどのOUTPUT端子と接続します。
●モード切替スイッチで“FIXED”選択時に[R]と[L]それぞれに接続可能です。“VARIABLE”、“MONO/BTL”選択時は使用しません。
- AC IN端子**
AC入力端子です。付属のACコードを使用してご家庭のAC100Vコンセントと接続します。
- モード切替スイッチ**
本機の動作モードを切り替えるスイッチです。接続方法により、下記の通りスイッチを切り替えてください。
 - VARIABLE (スイッチ位置: 中央)
ステレオパワーアンプ(100W/8Ω x 2CH)として動作します。入力端子は●INPUT端子(VARIABLE)を使用します。フロントパネルの●レベル調整ツマミで入力信号のレベル調整が可能です。

4 接続の方法

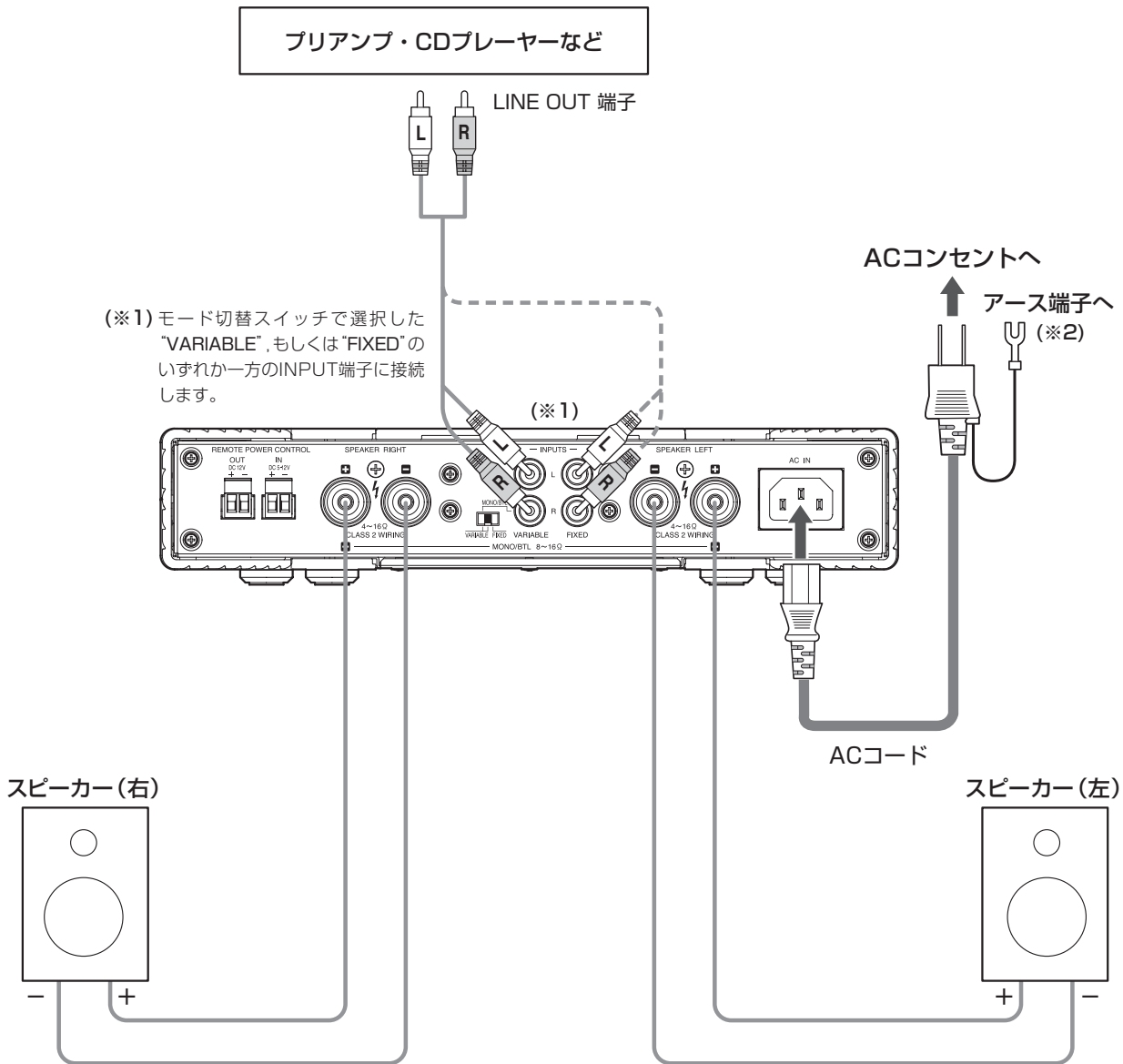
■ 周辺機器との接続

- 接続の際は、本機及び各機器の電源を切り、極性等確認の上正しく接続してください。
- 電源コードは全ての接続が終わってから接続してください。
- スピーカーコードを接続する際は、ショートしないように注意してください。

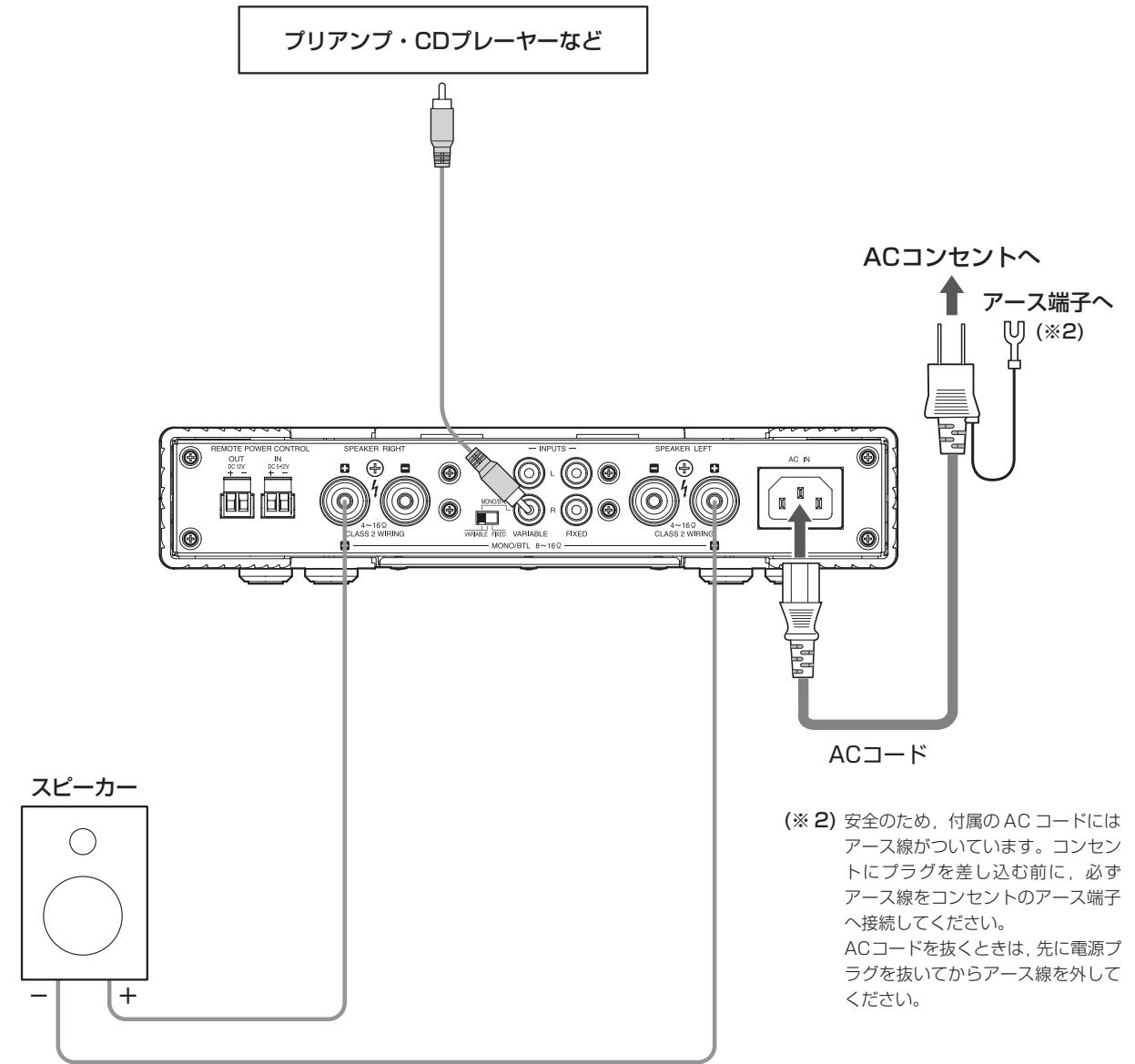
- 本機は主電源コンセント(ご家庭の壁コンセント)の近くに置き、電源プラグに容易に手が届くようにしてください。
- 接続する機器によっては、端子名などが異なることがあります。

※接続する機器の取扱説明書もご参照ください。

接続例 1: 一般的なステレオ再生時 ※モード切替スイッチは、“VARIABLE”又は“FIXED”を選択します。



接続例 2: ブリッジ(BTL)接続時 ※モード切替スイッチは“MONO/BTL”を選択します。

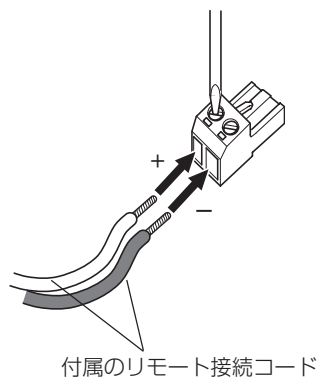


● REMOTE POWER CONTROL 端子の接続方法

REMOTE POWER CONTROL 端子を接続することにより、同端子を持つフライングモール社製品の電源と本機の電源を連動させることができます。接続の際は、接続する機器の取扱説明書もよくお読み下さい。

1. 本機の REMOTE POWER CONTROL 端子に装着しているコネクタを外す。
2. 付属のリモート接続コード先端の絶縁皮膜をはずし、芯線をしっかりよじります。
3. コネクタの穴に芯線を差し込み、ネジをしめてコードを固定する。(極性にご注意下さい。)

※ 電源を連動させる機器側のコネクタも同様の作業【1～3】をします。電源を連動させる機器側にもコネクタが付属しています。



付属のリモート接続コード

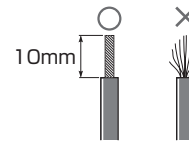
4. 各機器の REMOTE POWER CONTROL 端子にコネクタを接続する。
 - ・他の機器の電源に本機を連動させる場合→本機: IN, 他の機器: OUT に接続します。
 - ・本機の電源に他の機器を連動させる場合→本機: OUT, 他の機器: IN に接続します。

※ 市販のビニル絶縁電線でも使用頂けます。
・適合サイズは、AWG24～AWG12です。
接続の際は、上記【1～4】をご参照頂き、極性に充分ご注意ください。

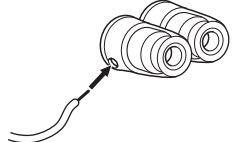
※ 極性にご注意下さい。
黒い線をマイナス側に接続して下さい。

● スピーカーコードの接続

- ① コードの端の被覆を10mmくらいむきます。
- ② 芯線をしっかりよじります。



- ③ スピーカー端子を左に回してゆるめます。
- ④ コードの芯線部分を全部差し込み、右に回して端子を締めます。



※ スピーカーコードの芯線はしっかりよじり、スピーカー端子からはみ出さないように接続してください。芯線がリアパネルに接触したり、+側と-側が接触すると保護回路がはたらいて正常な動作をしないことがあります。

ご注意

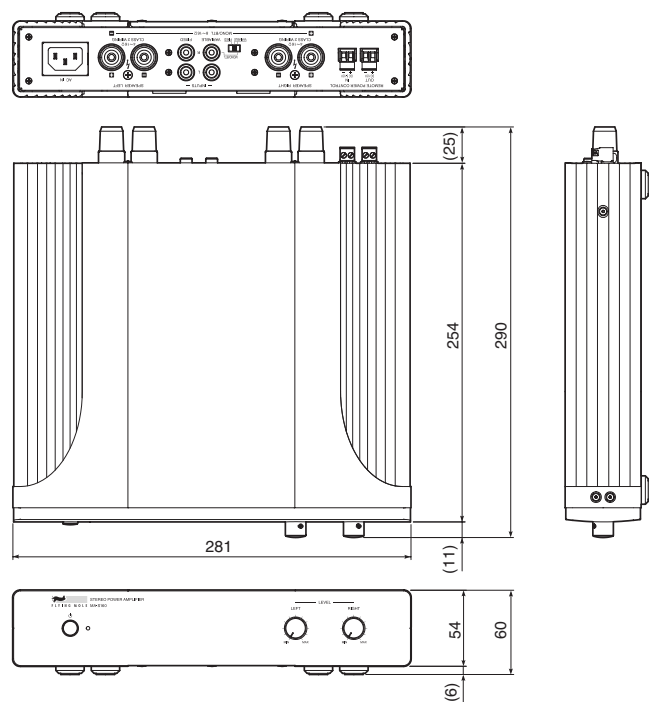
- 本機はDCアンプ回路構成(入力からスピーカー出力まで音楽信号がコンデンサを通らない)となっております。その為、接続する機器により、電源ON/OFF時に若干のポツ音が発生する場合があります。
- 本機はデジタル信号を扱います。ご使用になる環境によっては他の電気製品に障害を与えることがあります。障害が発生する場合は最も障害が軽減する設置場所を選択して下さい。一般的には障害が発生する製品との距離を確保頂くのが有効です。特にテレビやラジオ放送の受信において室内アンテナやフィーダー線をご使用されている場合は、放送電波の受信感度が低いために外部からの影響を受けやすく、受信状態が悪化する事が有り得ます。このような場合には室外アンテナ及び同軸ケーブルのご使用をお勧めします。

5 仕様

定格出力	160W x 2 / 4Ω, 100W x 2 / 8Ω, 300W x 1 / 8Ω (ブリッジ接続時)	入力インピーダンス	VARIABLE: 47kΩ (Vol MAX), FIXED: 100kΩ
全高周波歪率	0.05% (@50W/8Ω/1kHz)	消費電力	40W
周波数特性	DC-20kHz (+0dB/-0.5dB) / (8Ω)	電源電圧	AC 100V, 50Hz / 60Hz
チャンネルセパレーション	>70dB (20kHz)	安全規格	電気用品安全法準拠
S/N比	120dB (IHF-A)	使用環境	0℃~40℃
入力感度	1V	最大外形寸法	281 (W) x 60 (H) x 290 (D) mm
		重量	4.2kg

※ 銘板表示は本機の底面にあります
※ 仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。

6 外形寸法図



単位: mm

7 お手入れについて

ベンジン、シンナー系の液体および化学ぞうきんの使用や周囲でのエアゾールタイプの殺虫剤の散布は避けてください。お手入れは、必ず柔らかい布を使用して、乾拭きしてください。汚れがひどいときには、中性洗剤を薄めた水に柔らかい布を浸し、強く絞ってから拭き取るようにしてください。そして、柔らかい布で乾拭きしてください。



8 ご愛用者アンケートご協力をお願い

弊社ホームページ内「サポート」コーナーにアンケート表を設けております。弊社製品をお買い上げいただいた皆様への今後のサービス充実、また商品企画へのフィードバックに活用させていただきます。ご回答いただきましたお客様には、弊社各種イベントや新製品のご案内など差し上げております。下記URLへのアクセスをお待ち申し上げます。

<http://www.flyingmole.co.jp>

お客様の個人情報の取扱いについて

アンケートにご記入頂きましたお客様の個人情報につきましては、サービスの拡充や商品開発にのみ利用させていただきます。また、弊社として適切な安全対策を講じ、漏洩防止に努め、お客様の許可なく第三者に提供等致しません。



株式会社 フライイングモール
〒431-1115 静岡県浜松市和町5199-1
TEL: 053-486-6030 FAX: 053-486-6033
URL <http://www.flyingmole.co.jp>
E-mail info@flyingmole.co.jp

用紙は再生紙、インキはSOYINK(大豆油を使った植物性のインキ)を使用しています。弊社では、地球にやさしい印刷物を常に考えています。